

# 体重増加著明な患者に対する塩味テスト

医療法人社団 茨腎会 太田ネフロクリニック

○木村吏香 和地綾 鈴木教正 西野貴江  
山中祐治 二階堂剛史  
野口良輔 酒井伸一郎

# 【目的】

今回、体重増加が著明な患者に対して、  
体重管理・食事指導における薄味評価  
の客観性を高めるため、塩味テストを実  
施したのでここに報告する

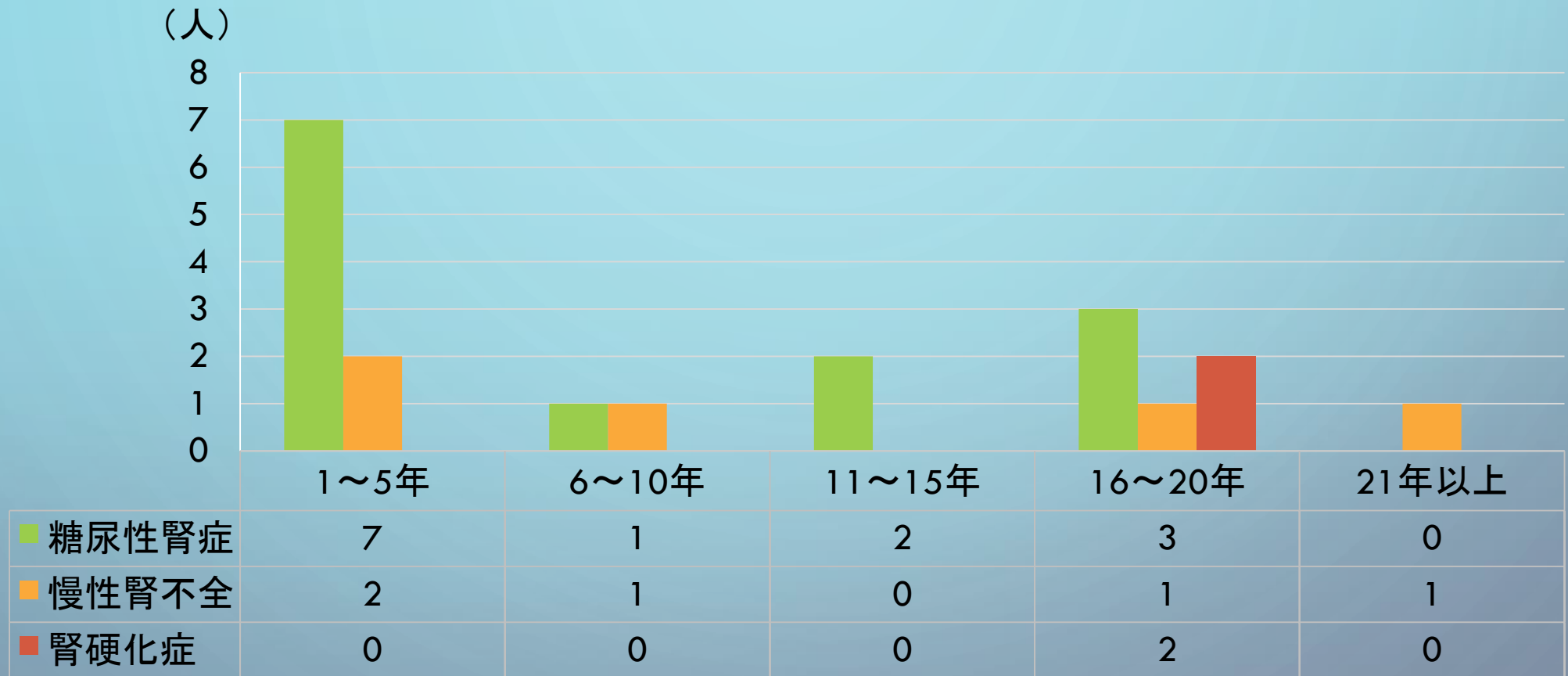
# 【対象】

過去3か月において、中1日の体重が5%以上増加があった患者20名（男性13名 女性7名）

平均年齢：69.6±10.6歳（40～80歳代）

血清亜鉛濃度が基準値内に限る

# 【透析歴と基礎疾患】



# 【方法】

食塩含浸濾紙(ソルセイブ)を使用し、Nacl含有量 0～1.6mg/cm<sup>2</sup>で比較した



- ①RO水で含嗽し、ろ紙を1分間くわえる
- ②味覚の感想を述べてもらいよく食する物も問う

\* 食後3時間以上経過で透析開始前とした



# 【患者様の口腔内】



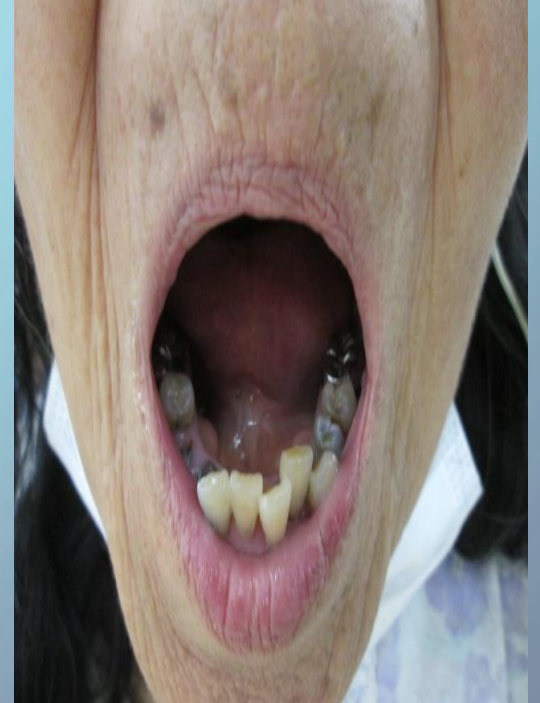
軽度味覚減退



中等度味覚減退



高度味覚減退



# 【塩味評価実施の様子】



## 【結果①】

- 味覚消失1名(5%)
- 高度味覚減退10名(50%)
- 中等度味覚減退4名(20%)
- 軽度味覚減退3名(15%)
- 正常2名(10%)

\* 高度味覚減退の患者様は体重コントロールも不良であった



## 【結果②】

### <感想>

- ・どれも塩辛く感じないよ
- ・本当に塩ついてるの？
- ・喉が渴いちゃうね
- ・すごいしょっぱい
- ・分からない

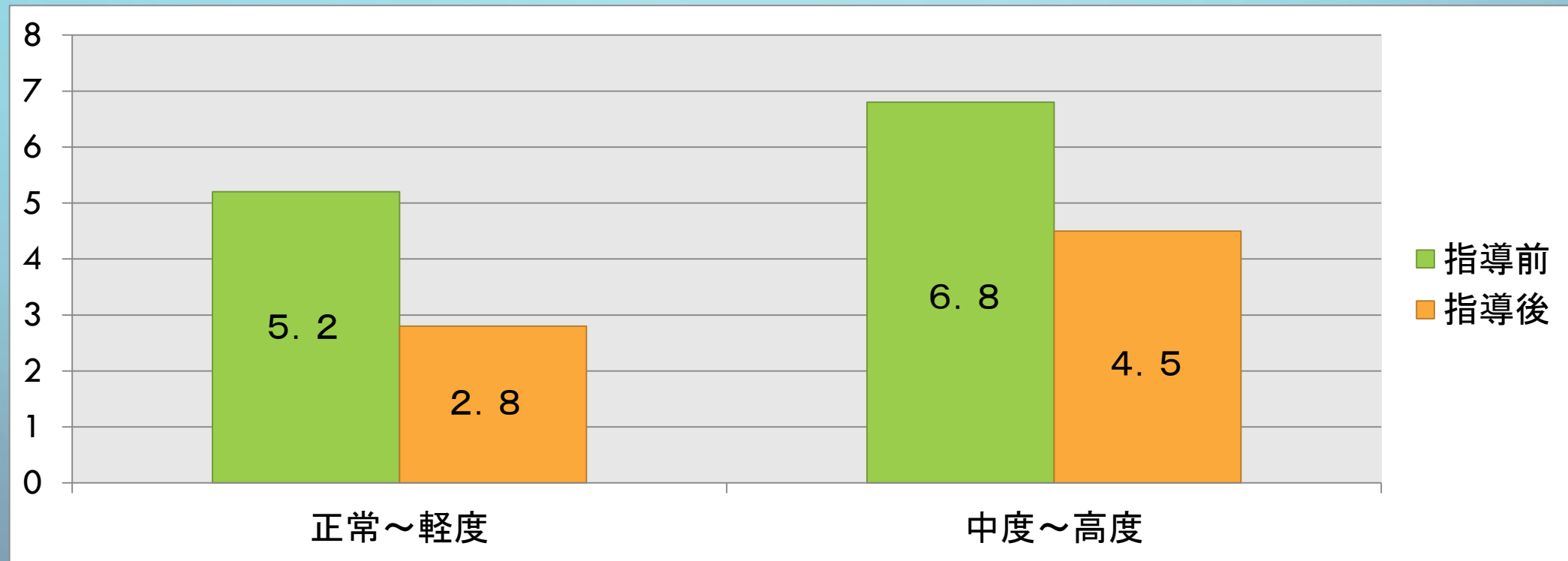
### <好んで食するもの>

- ・漬物
- ・ラーメン
- ・カレーライスに醤油
- ・コンビニの弁当
- ・焼き魚（ホッケ・鮭）

# 【体重増加率の変化】

2019.1月～5月

(%)



# 【考察】

- ・高齢患者は加齢現象による舌乳頭の萎縮や消失、唾液の分泌低下により味覚の感度が低下していると考え
- ・歯周病や舌苔により味覚が鈍麻し、濃い味を好み口渇が出現していると考え
- ・口頭での指導だけでなく、塩分規定量を一緒に確認できたのは、減塩に対する知識や体重増加について理解が得られたと考える

# 【結語】

今後は患者背景、基礎疾患、食生活を視野に入れながら、口腔ケアも加え体重増加の指導に当たっていききたい。

日本透析医学会  
COI開示

筆頭発表者名 木村 吏香

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません